

## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：村山 一弥

<b>事業名</b> 一般国道8号 <small>かしわざき</small> 柏崎バイパス	<b>事業区分</b>	一般国道	<b>事業主体</b>	国土交通省 北陸地方整備局
<b>起終点</b> 自：新潟県柏崎市大字長崎 至：新潟県柏崎市大字鯨波				<b>延長</b> 11.0km
<b>事業概要</b> 一般国道8号柏崎バイパスは、柏崎市街地の交通混雑を解消し円滑な交通を確保、広域幹線道路ネットワークの強化などを目的とした延長11.0kmのバイパス事業である。				
S62年度事業化		H元年度都市計画決定		H3年度用地着手
全体事業費		約826億円		事業進捗率
				67%
計画交通量		17,100～35,800台/日		
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益
	(事業全体) 1.1 (残事業) 3.8	(残事業)/(事業全体) 279/1,173億円 事業費：215/1,074億円 維持管理費：64/99億円		(残事業)/(事業全体) 1,047/1,239億円 走行時間短縮便益：880/1,043億円 走行経費減少便益：128/154億円 交通事故減少便益：39/43億円
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量 : B/C= 0.9 ~1.1 (交通量±10%) (残事業) 交通量 : B/C= 3.3~4.0 (交通量±10%) 事業費 : B/C= 1.04~1.1 (事業費±10%) 事業費 : B/C= 3.5~4.1 (事業費±10%) 事業期間 : B/C= 1.02~1.1 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C= 3.7~3.8 (事業期間±20%)				
<b>事業の効果等</b> <b>定性的な効果</b> ①災害時における交通の確保 ・地震・水害時の緊急避難路として機能し、緊急輸送道路ネットワークとして信頼性が向上する。 ②冬期間のスムーズな交通の確保 ・冬期間における円滑な交通の確保が期待されるとともに、安全性・信頼性が向上する。 ③主要な観光地へのアクセス向上 ・海水浴場や海岸線沿いに集中する観光施設等へのアクセス性が向上する。				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> <b>地域から頂いた主な意見等</b> 柏崎市や国道8号柏崎バイパス事業促進協議会から本道路の整備促進についての要望を頂いている。 <b>知事の意見</b> 県民の命と暮らしを守り、豊かな新潟県を創るため、事業の継続を望みます。				
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 審議の結果、再評価および対応方針（原案）のとおり事業継続することが妥当。				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 前回再評価以降、大きな社会経済情勢などの変化はない。				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 事業の進捗状況：用地進捗率93%、事業進捗率67%（平成29年度末予定） 残事業の内容：用地取得、埋蔵文化財調査、道路設計、改良工事				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・柏崎市城東～柏崎市大字鯨波間の道路設計、改良工事及び柏崎市東原町～柏崎市茨目間の道路設計、埋蔵文化財調査、改良工事を推進し、早期の暫定2車線供用を目指して整備を進める。 ・4車線整備については、交通状況を勘案しつつ整備時期等を検討する。				

施設の構造や工法の変更等

- ・建設発生土の有効利用や新技術の積極的な活用等により、コスト縮減を図る。

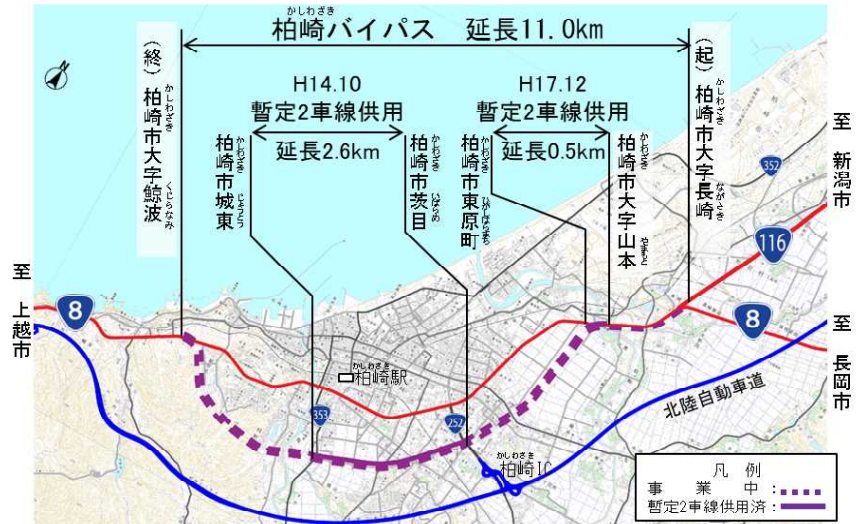
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みからも、引き続き事業を継続することが妥当であると考えます。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。